



# 都城東高って どんな学校

# つかみ取る全国制覇

## - 体育会系5部活 -

都城東高  
校報

# 東の風

### 校訓

誠実をもって進んで  
実践する人

### 3つの柱

国際化に対応できる  
人材の育成  
「グローバル教育」  
日本人としての  
人格の育成  
「礼節道徳教育」  
職業教育による  
本物の人材育成  
「デュアル教育」



「今年こそ甲子園」と誓う野球部

部長 平野 健登 監督 河野 譲次

### 野球

「走る」「食べる」を今年の大テーマに掲げている。昨年の夏の甲子園出場をかけた第100回全国高等学校野球選手権記念宮崎大会は、代表校に手が届くところまで勝ち進んだ。だが猛暑に負けた。ベスト8での逆転負け。

河野譲次監督はさらなる体力づくりが喫緊(きつじん)の課題と位置づけ、「とにかく食べる」「走れ」と檄(げき)を飛ばしている。練習は休養日の月曜日を除いて平日が午後4～8時。土、日は午前8時半～午後5時の1日練習。他校との練習試合に充てている。この練習の中に「もぐもぐタイム」があり、「食べる」

東京オリンピック・パラリンピックは2020年7月24日、8月25日に開会式を迎えます。プレオリンピックイヤーの今年2019年は一段とスポーツが脚光を浴びます。本校では野球、女子ソフトボール、男子剣道、男子バレーボール、女子ソフトテニスの五つを「強化部」と位置づけ、一流の指導者の下、部員一丸となって全国区へ名乗りを上げようと練習に励んでいます。全国制覇に燃える5部活動を紹介します。(敬称略)



「剣道の都城東」と意気込む剣道部

部長 石窪 真一 監督 永野 孝彦

### 剣道

「全国制覇」を掲げ日々精進。「やってきた事を信じて」「負けてたまるか」「悔しさを忘れるな」。本校体育館道場の壁には自らを鼓舞する言葉が並ぶ。

「やっつけてきた事を信じて」「負けてたまるか」「悔しさを忘れるな」。本校体育館道場の壁には自らを鼓舞する言葉が並ぶ。藤野亜美主将(大塚中出身)は「しつかりとした体をつくり、甲子園初出場、初優勝を目指す」ときっぱり。

河野譲次監督はさらなる体力づくりが喫緊(きつじん)の課題と位置づけ、「とにかく食べる」「走れ」と檄(げき)を飛ばしている。練習は休養日の月曜日を除いて平日が午後4～8時。土、日は午前8時半～午後5時の1日練習。他校との練習試合に充てている。この練習の中に「もぐもぐタイム」があり、「食べる」

### ボウフラ

心を磨く朝の校内清掃。登校するとぞうきんを手に廊下、階段、踊り場と清掃する部員の姿を目にする。部が続けている「心を磨く朝練」だ。藤野亜美主将(大塚中出身)は「先輩方の熱い思いを受け継ぎ日々の練習に励んでいる。『剣道の都城東』として精進します」と誓っている。

舞する言葉が並ぶ。その中央には「全国制覇」の四文字も。2013年の県高校総体・団体優勝を最後に「優勝」からしばらく遠ざかっていたが、2017年11月の県高校新人総合体育大会剣道競技の個人戦で、長友悠泰(唐瀬原中)が見事優勝を飾った。持留叶夢主将(大隅中出身)は「先輩方の熱い思いを受け継ぎ日々の練習に励んでいる。『剣道の都城東』として精進します」と誓っている。

### バレー

創部2年目でベスト4の実力。2017年の創部。監督に男子バレーボール元日本代表の泉水智、コーチにマウリセ・トラバ元キューバ代表

部は2014年の全国高校総体で第5位の実績を持つ。新チームの戦績は南九州大会、県新人戦で優勝と順当に実力を発揮している。県高校総体(5月)に照準を合わせた練習が続いている。



期待が高まる創部2年目のバレーボール部

監督 泉水 智 コーチ マウリセ・トラバ

身は「寒い朝などきついが、学校があったので部活。感謝を込めて続けている」という。九州内の高校への遠征試合も多い。「モチベーションがリセットされるので楽しんで」と部員が笑顔で話す。

### テニス

練習後もジムで体幹トレ。校内にある整備されたサンドコートで練習に励んでいる。休養日は毎週火曜日だが自主トレでコートに立つ

表と指導者に恵まれている。初の公式戦となる17年は県総体、春高バレー宮崎大会ともにいきなりベスト16。昨年はベスト8、ベスト4(3位)と存在感を増している。快進撃の原動力はキューバからの留学生アライン・デ・アルマス(17)。U18の元キューバ代表選手も務めていたこともあり超高校級だ。輛田凌人主将(妻

ケ丘中出身)は「アラインの技術力の高さにつられるように部員の力も上がってきている」という。部員が多い。月、水、金曜日の夜は練習後、学校近くのジムで体幹トレーニングにも励んでいる。「鍛えることで重心のぶれがなくなる。身体が安定し、パフォーマンスも上がる」と黒木悠理主将(妻ケ丘中出身)。



順当に勝ち星をあげている女子ソフトボール部

部長 豊留卓哉 監督 花田 千佳



「まずは県高校総体ベスト4」と誓うソフトテニス部

### 校内行事 (2月)

23日(土) 第52回卒業式・第9回自動車専攻科修了式 会場:本校体育館  
26日(火) 2学年修学旅行(関東方面、3月1日(金)帰校)

「練習は楽しく」がモットー。ラケットを握らないトレーニングや走り込み時は音楽がコートに響いている。一番人気はTWICEだ。最近の成績は団体、個人ともにベスト8。5月の県高校総体では「まずはベスト4入り」を目指す。



# 未来開く5学科

テーマ **楽しさ** 各学科の特徴をそれぞれの学科生が自分の言葉で紹介します。(敬称略)

## ■総合ビジネス科

**1年 宇津元 舞花**(高城中出身)

電車、パソコン、商業簿記と総合ビジネス科生が取得する資格は多数あります。これらの資格試験合格を目指す。授業は6時限目の指して授業はもろろのこと、放課後も勉強に励んでいます。壮感漂うものではないかもしれません。先生方が分かりやすく、時には面白話を交えながら授業を進めてくださるので楽しく学んでいます。放課後の勉強も見てください。



## ■普通科

**2年 橋谷 季映**



1 昨年5月、2年半過ぎたトルコ共和国から帰国し、特進コースに編入しました。クラスメイトは4人と少人数ですが、それぞれ問題意識や学習意欲が高く、切磋琢磨(せつさくさくま)し合える毎日が楽しいです。

**3年 田島 亜唯**(小松原中出身)

2年生の2月、関東方面への修学旅行がありました。調理科は東京の築地市場と横浜市の中華街に行きました。友達と一緒に東京の街も一日中歩きました。テレビで見える風景や初めて目にする景色に感動しました。



## ■自動車工業科

**2年 渡辺 亜莉紗**(山田中出身)

毎日がとても充実しています。私が一番楽しみな授業はエンジン分解です。完成品をバラバラにして改めて組み直すという作業ですが、パズルを解いているようで面白く取り組んでいます。



## ■看護科

**2年 中川 誠也**(祝吉中出身)

3年後に迎える「国家試験」という大きな壁を乗り越えるために、何をしなければならぬか、クラスの仲間と互いに向上心を競い合っています。



**普通科1年のニコルさん**(フィリピン)が優秀賞

日本語スピーチコンテスト

県国際交流協会が主催する在住外国人による「日本語スピーチコンテスト」が12月1日、カリノ宮崎(宮崎市)であり、普通科1年のニコル・マリィ・パサレスさんが高校生の部で優秀賞(準優勝)に輝きました。



発表をするニコルさん

ニコルさんは昨年春入学した、フィリピン・西ネグロス州からの留学生。本校で放課後実施している日本語教室にも欠かさず通い日本語力をアップさせています。定期的に開催される漢字

テストでも高い点数を維持しています。テーマは「わたしと日本」で、学校生活を通して体験した「あいさつ」や「掃除」を「日本人の良い振る舞いと感動した」と述べていました。

調理科3年生恒例の「卒業作品展」が

**調理科・卒業作品展**

「この日を楽しみにしていました」

和食部門、洋食部門、中華部門、お菓子部門に分かれ3年間の授業成果を「得意料理の一品」として出品しました。

**自動車専攻科でハイブリッド・電気自動車の点検・整備講習会**

自動車専攻科で12月14日、ハイブリッド車・電気自動車の点検・整備のための特別教育講習会(県自動車整備振興会主催)がありました。

同振興会などでは、2030年までに電気自動車は新車販売台数の30%に達するとの見方を示しており、「業界は電気自動車を整備できる多くの人材を求めている」といいます。

専攻科生に寄せられる期待は大きなものがあります。

**防災訓練**

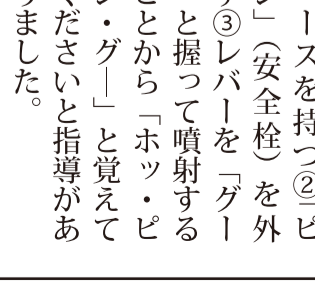
「お・か・し・も」

「ホッ・ピン・グー」

の順守で命を守る

避難時の合い言葉は「押さない」「駆けない」「しゃべらない」「戻らない」の「お・か・し・も」。生徒らは先生の誘導で整然と、避難場所の駐車場に集合しました。

駐車場では、南消防署員による防災講話と消火器使用の初期消火訓練があり、この中で、消火器の取り扱いについては①消火器の「ホース」を持つ②「ピン」(安全栓)を外す③レバーを「グー」と握って噴射することから「ホッ・ピン・グー」と覚えてくださいと指導がありました。



駐車場に避難した生徒